

令和7年度2学期終業式式辞

**気づいて考えて
やってみる!**

自分を大切に
人を大切に 力を合わせて

今日で2学期が終わります。たくさんの行事や学びがあった2学期でした。4月に私が皆さん出した「3つのミッション」について振り返ってみましょう。

1つ目のミッション、これは今年150周年とからめて大きなミッションでした。11月の五サー市を盛り上げることを目標に、加計小学校区のすべての地区をつなぐことをみんなで考えてくれました。「チーム加計」、みんなで力を合わせて取り組んでくれたと思います。

大ミッション!!

つながろう加計
プロジェクト150



五サー市では、5・6年生のマーチングバンドをトップバッターに、たくさんの地域の方に見ていただきました。

1年生から6年生まで、地域の方々と学んだことをいろいろな方法で伝えることができました。





俳句集めでは参加者の協力を得て、目標の150句をクリアし、187句が集まりました。毎朝、広報委員の放送で紹介してもらっていますね。また、おうちの方々も皆さんに内緒でこっそり練習してファンファーレバンドやコーラスなどで盛り上げていただきました。目標にしていた「五サー市を盛り上げる」ことは大成功でした!!(みんなで拍手)

150周年記念の人文字プロジェクトもこんな風に出来上がりました。いい思い出になりましたね。

さて、3年生以上に五サー市を振り返り、どんなことを学んだか、考えたかを書いてもらいました。みなさんの考えを分析してみました。すると、ここにあるように皆さんがたくさんのことを学んだことがわかりました。

地域貢献の意識:「五サー市を盛り上げるために、企画を考えて、行動している」と気づき、地域の人々を楽しませることに貢献している。

協力の重要性:「みんなで協力することで、お客さんを楽しませることができる」との認識があり、協力の大切さを学んだ。

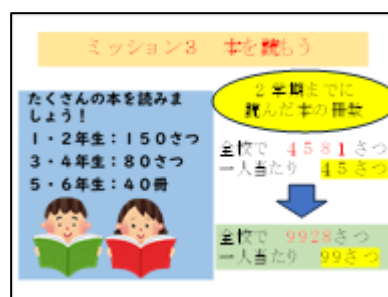
準備の大変さ:「五サー市に出店するものは、すごく大変な準備の末に出ていることがわかった」と述べ、準備の苦労を実感した。

達成感と喜び:「ダンスをして、とてもやりがいがあった終わったあとに見てくれた方が拍手などをしてくれて、とても嬉しかった」と、イベントを通じて得た達成感や喜びを表現している。

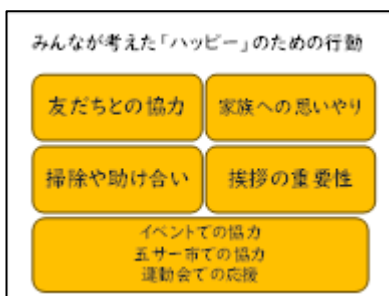
地域のつながり:「この町の人はやさしい人なんだと気づきました」と、地域の人々とのつながりや温かさを感じたことが強調されている。

☆このように、子どもたちは五サー市を通じて地域貢献、協力の重要性、準備の大変さ、達成感、地域のつながりを学び、成長したことがわかりました!

続いて、2つ目、3つ目のミッションです。アンケートの結果、このようになりました。



俳句作りも順調です。学校の百句苑にも皆さんの俳句が飾られていますが、それを読むのがとても楽しみです。また、読書数も伸びています。2学期までの総冊数は9928冊。もう少しで1万冊です。年間の目標冊数をすでにクリアしている人も35名います。3学期もしっかり本を読んでください。



最後に、2学期に皆さんにお話したことを振り返ってみましょう。「だれかをハッピーにするために何かしましたか」という質問に答えてくれた結果がこれです。たくさん考えて行動してくれたことがわかります。とてもうれしいです。五サー市もそうでしたが、私たちがこうして無事に過ごせたり、

何かにがんばれたりするのは、見えない誰かの努力や支えがあつてのことです。そのことに感謝し、「ありがとう」「いただきます」の気持ちを伝えられる人になってください。

さあ、いよいよ3学期を迎えます。それぞれが新しい学年への階段を上る時期になりました。そう簡単なことではありません。力をつけて、仕上げの学期をむかえられるよう冬休みを過ごしてください。

令和7年12月23日 学校長 萩原英子

